

1月7日号

週刊住宅

CF ネット

三崎港にレトロ店舗 地元食材で地域活性化

シー・エフ・ネッツが、ループのシー・エフ・ビルマネジメント（横浜市港南区、倉橋隆行社長）は、神奈川県三浦市の三

崎港付近に空店舗を再生

した飲食店「炭火焼蔵

」をオープンした。201

0年度から神奈川県三浦

市が実施している「下町・

城ヶ島地区活性化事業の第2事業「昭和の漁師街復活活性化プロジェクト」の商店街のテーマパーク化の一環。

同社は、この事業で数多く残る昭和初期の建物をコンバージョンしている。これまでにランドマ



1月の澤田痴陶人美術館の毎月数十本の映画・テレビの澤田痴陶人美術館をはじめ、同市で実施するレビドラマロケで使用さ

れたグッズを展示する映画会ギャラリー、昭和の生活文化を紹介する三浦昭和館などを手掛けてきた。

今回の新店舗は、地元の食材を提供することで三崎港地区と観光地の「城ヶ島」をアピールし、さらなる地域の活性化を促すことが目的。京浜急行三崎口駅よりバス15分（三崎港バス停下車）。16時～23時。水曜定休。